



区政レポートNo.93

杉並区議会議員
杉並わくわく会議代表

松尾 ゆり

2007. 12. 6. 発行

連絡先：

杉並区下井草 1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ：

<http://www.suginami-waku2.net/>

11月議会が開催中です。以下、松尾ゆりの一般質問の中からご紹介します。(質問の詳細はホームページでご覧になれます。また、文書で必要な方は上記までご連絡下さい)。

高齢者福祉充実のために区ができること

「介護保険制度の制度改正で、多くの方が介護サービスを削られて困っている。区は独自の努力でカバーすべきでは」と提言。たとえば、**渋谷区**では、

- 要支援2**になってしまい、ホームヘルプの**時間が足りない**人へのために
- 同居家族**がいるという理由でホームヘルプが**支給されない**人へのために
- 通院・外出**の介助が必要な人のために
- 本人以外の同居の高齢者のための**食事準備や清掃**に

ゆい発 住基ネット訴訟で杉並区敗訴！

29日東京高裁で杉並区の「住基ネット訴訟」判決が出ました。一審以上に区にとっては厳しい結果。

「市町村長は、住民が通知を希望しているか否かを問わず、都道府県知事に対し、もれなく本人確認情報を送る義務がある」「個人の権利を侵害するか否か、地方自治体が独自に違憲性を判断し、法に定められた事務処理を行わないのは許されない」…。

そもそも杉並区の住基ネットに対する態度はすごくネジれていて、わかりにくいのです。

○まず、住基ネット発足前には山田区長が「住基ネットはプライバシーの問題があるから**離脱**」と宣言。(ここまではよかった。)

○4年前、2期目の当選を果たした途端に「横浜方式＝**選択制で接続**」(将来的には全員接続)に転換。

○その後「非通知申し出」をした人以外はネットに**接続するよう都に要請**したが拒否され、提訴。

という経過をたどっているのです、今回の裁判も「離脱を認めさせるための裁判」と誤解している人が多いと思います。が、この裁判は「**接続を求める**」裁判です。「杉並区はこんなに頑張ったのに都が選択制を認めず、裁判所も認めてくれなかった。だから仕方ない」と**幕引き**するための**アリバイづくり**でしかありません。区は悪あがきの上告などせず、**国立市**や**矢祭町**のように、毅然として「ネット接続はしない」と言うべきなのです。

講演会「どうなる！？ 日本の医療」

鈴木 厚氏(川崎市立井田病院地域医療部長)

日時：2008年1月27日(日) 1:30～

場所：杉並区産業商工会館1F展示室

(JR阿佐ヶ谷南口徒歩5分)

主催：福祉フォーラムすぎなみ 後援：杉並区

小児科、産科が足りない！ 医師不足！ 病院たらいまわし！ と不安がいっぱい。いったい日本の医療はどうなってしまうの！？ と思っているあなた！ **来年のことですが、ご予約ください！**

と、それぞれヘルプサービスを独自に用意し、困っている人の一人一人に答える、**きめこまかいサービス**を考えています。杉並区ももっと、区民に密着したサービスを考える必要があります。

企業活動を公立小学校がお手伝い？

一般質問の中からもうひとつ、教育行政に関連して「**エコリ**」の問題をご紹介します。

といっても、小学校に関係のない方には何のことかわからないと思います。雑誌「エコリ」は**サンケイリビング社**が発行する教育をテーマにした**フリーペーパー**です。文京区・台東区・杉並区の小学校を通じて家庭むけに継続的・定期的に配っているものです。

公立小学校が特定の企業の雑誌を無料で配布して、営業活動に協力するのはおかしいと指摘しました。

世田谷区はすでに区議会の指摘を受けて**配布中止**を決めています。杉並区も中止すべきです。

小中学校適正配置(統廃合)再検討

杉並区教育委員会は小中学校適正配置の「再編構想」について「新しい人口予測のデータをふまえて**再精査**する」という考えを発表しました。

つまり、思っていたよりも**子どもが減らない**(横ばいないし微増)ことがわかり、統廃合する**学校数や地域**をもう一度検討し直すということです。問題の神明中・宮前中の統合案も、先延ばしになった形です。

この際、杉並区の学校として望ましい学級や学校の規模はどれくらいなのか、そして、現在の学校を本当に減らさなければならないのかについて、もう一度区民全体で、**根本的に議論**をしてみることが必要です。